

筑後地域連絡協議会の活動報告



筑後地域連絡協議会リーダー施設
特別養護老人ホーム桜の丘
入江恵美

令和6年度筑後地域の取り組み施設

1期生: ★ 2期生: ★ 3期生: ★ 4期生: ★ 5期生: ★

1	特別養護老人ホーム常照苑くすのき通り
2	特別養護老人ホーム桜の丘
3	介護老人保健施設アルテンハイムヨコクラ
4	特別養護老人ホーム常照苑サンシャイン
5	特別養護老人ホーム八女の里
6	若久シニアビレッジ
7	社会医療法人天神会
8	特別養護老人ホームちくご船小屋
9	特別養護老人ホーム宝珠の郷
10	特別養護老人ホーム朝老園ひさみつ
11	特別養護老人ホーム美さと
12	特別養護老人ホーム紅葉樹
13	介護老人保健施設クリーンバル・ゆう
14	特別養護老人ホームひじり園うきは
15	特別養護老人ホーム第2ひじり園
16	介護医療院やひめ



今年度の目標

- ①介護福祉士養成校や高校等との連携
- ②技術研修の実施
- ③筑後地区のブロックごとに技術研修会を行う

① 4校に出向き福岡県ノーリフティングケア普及促進事業に参加し取り組んでいることを具体的にお話をさせていただき交流の機会を検討。実現したのは・・・

②九州大谷短期大学・特別養護老人ホームちくご船小屋で実施

③今年度は検討のみ

令和6年4月19日 筑後地区地域連絡協議会施設長懇談会

筑後地域から
介護を変えましょう！！



4月に筑後地区にある介護福祉士を養成している高校・技術専門学校へ訪問し取組の報告等を行う。

筑後地域の参加施設13施設の施設長に参加していただき各事業所の取り組み状況・今後の取り組み（地域連絡協議会）の活動予定などについて情報共有し自施設だけでなく一緒に筑後地域に「ノーリフティングケア」を定着させていくための活動の特養部会の後援を得ながら進めていく事を報告。
これまで福岡地域で活動していた筑後地区老協の2施設も今年度より合流。

地域連絡協議会・活動報告(オンライン)

開催日：6月20日

開催日：9月19日



◆ 定期的な進捗報告・取り組み報告を行うことで「立ち止まってはいられない」、「基本的なことから丁寧に実践しよう！」お互い良い刺激になっています。報告は成功例だけでなく仲間だからこそ失敗したことも共有しています。

◆ テーマについては事前にSLACKで発信を行い困っている等、みんなで意見交換を行ったりほかの施設の取り組みを聞き自施設の取り組みの参考にしています。9月「ラウンド」についてはとても貴重な時間になりました。

7月19日 九州大谷短期大学福祉専攻科の学生さんへスライディングボードを使用した移乗方法の技術指導(筑後地区老協後援)



取組施設職員へ座り直しとシートを使った上方移動・横移動(筑後地区老協後援)

10月30日
開催

研修内容
①ボード移乗
②グローブの活用
③フレックスボードの使い方



32名参加

今回の技術指導担当は、
桜の丘 入江・アルデンハイムヨコクラ 牧野
・常照苑サンシャイン 大津・サンステップ 山田 の4名が担当。



会場協力：特別養護老人ホーム
ちくご船小屋

～参加者アンケートより～

◆ 現場の悩みも技術研修を通して聞くことができたので良かったです。

◆ 不安に思ったことは聞きやすく楽しい研修でした。明日からできることを実践したいです。

◆ 各ベッドに担当の指導者がいたので相談しやすかった。体験できてよかった。

ノーマリフティングケアの体験会と実践報告会を筑後地域にある九州大谷短期大学で学生さんに協力していただき開催！！



参加総数
125名

参加者内訳

来場者 89名

協力者

学生 16名 教員 4名

企業 2名 事務局 2名

連絡協議会 12名

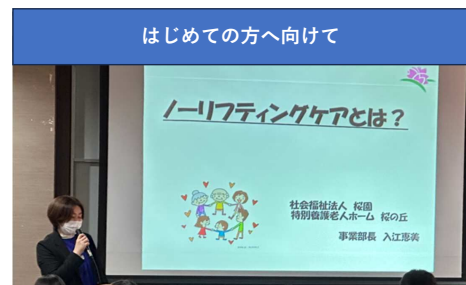
後援

筑後地区老人福祉施設協議会
筑後市社会福祉協議会
広川町社会福祉協議会

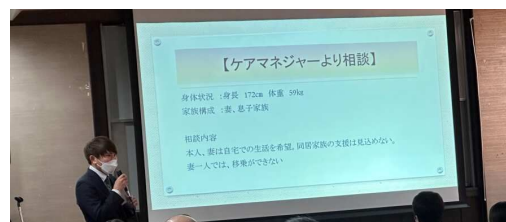


第一部

初めてノーフティングケアを体験する学生や在宅で介護をされている方へ向け



介護実習室にて
学生・在宅介護者向けの体験会



地域で福祉用具を通してノーフティングケアを支援している
サンステップ 山田さんより、
「いつまで家で過ごせる？ ～自宅でできること～」



技術指導は、筑後地域のモデル施設の職員で役割分担
①スライディングシート（上方移動） 桜の丘 入江担当
②スライディングシート（横移動） 常照苑 常照苑 堀上担当
③ベッドから車いすにボード移乗 常照苑サンシャイン 大津担当
④スタンディングリフト（スカイリフト） サンステップ 山田担当
⑤床走行リフト（シートタイプ） 八女の里 石井担当

介護施設関係者対象の体験コーナー
・リフト・スタンディングリフト・座り直しについて



参加者の状況を見ながら
体験コーナーを急遽追加



体験会も、筑後地域のモデル施設の職員で役割分担
①スタンディングリフト（Hug） 八女の里 畑野担当
②座り直し アルテンハイムヨコクラ 牧野担当
企業協力
➢床走行リフト（シートタイプ） アンパサンド清水様

第二部

実践報告会



地域リーダー
筑後地域連絡協議会活動紹介

宝珠の郷
少しずつ歩み続けたノーフティングケア
～3年目の取り組みと課題～



ちくご船小屋
ノーフティングケアの効果
～福祉用具で抱えない介護～



八女の里
スタンディングリフト導入により実現
できた理想的の排泄ケア

アルテンハイムヨコクラの牧野さんの声掛けにて全員で腰痛体操



腰痛体操
をしま
しょう！
皆さ～ん

アルテンハイムヨコクラ
ツナグ
～ノーフティングケアを継続させるコツ～



会場は
満員！！





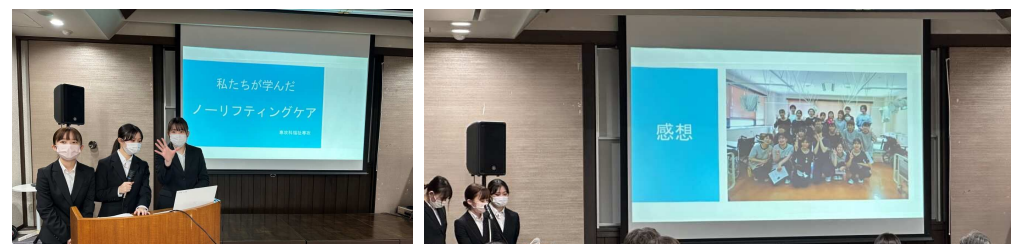
社会医療法人 天神会
医療機関へのノーリフティングケア普及に向けて

常照苑サンシャイン
細き流れも大河となる



桜の丘
小さいことをコツコツと（亀）
～PDCAは回っている～

常照苑くすのき通り
やさしいケアの継続
～ノーリフティングケア取り組みの軌跡～



九州大谷短期大学学生さんも、10月19日筑後地域連絡協議会の皆様から学んだノーリフティングケア技術学習について感想を発表！大切なメッセージを私たちに伝えてくれました！



皆様のご協力で無事開催できました。



懇親会

報告会参加者からのアンケート結果を基に筑後地域からの1～3期生実践報告代表は①アルテンハイムヨコクラ(2期生)②八女の里(3期生)③桜の丘(1期生)に決定

仲間の活動 1

介護現場から医療の現場、看護学校教育へ



9. 勉強会の実施（福祉用具の体験）



仲間の活動 2

グループ内職員の共通認識・意識の統一

3施設合同勉強会・技術研修
特別養護老人ホーム常照苑くすのき通り
特別養護老人ホーム常照苑 サンシャイン
介護老人保健施設 アルテンハイムヨコクラ



定期的な研修会・技術研修会を実施。技術研修会には同じ有明ブロックに特別養護老人ホーム美さとも参加

筑後地域連絡協議会の強みはチーム力

仲間がいるからこそ、継続できる。

お互いに認め合えた仲間だからこそ和気藹々とした雰囲気が伝わる12月の報告会を開催することができました。

次回の地域連絡会は2月26日に開催予定

各取組施設の施設長、委員が参加して今年度の地域連絡協議会の取り組み報告、今後の地域での取り組みについて意見交換を筑後地区老協と共催で行います。

筑後地域の連絡協議会へ参加してみませんか？
日程等情報は福岡県のホームページに掲載されています。
お申込みお待ちしております。

